



会津医療センターから こんにちは！



【33】

消化器内科学講座
助手 舟窪 彰

『胸焼け、胃痛一度検査を』

問 間もなく3月ですね。3月といえば、卒業や転勤、就職など大きな環境の変化を経験する時期であり、知らず知らずのうちにストレスを抱えてしまうこともしばしば…。加えて、歓送迎会などでついつい遅い時間まで飲食が過ぎてしまいがちですね。そんな時によく経験するのが胃痛や胸やけです。手軽に市販薬で対処することでなんとなく治ってしまうことも多いのですが、ちょっと待ってください！そういう時には、ぜひ一度胃カメラ検査を受けてみてはいかがでしょうか？

例えば、胸やけは逆流性食道炎が原因になっていることがあります。逆流性食道炎は胃酸が食道に逆流することで症状を来しますが、大食や脂肪分の多い食事、長時間の前かがみ姿勢などによって引き起こされることがあります。

また、胃痛は、胃や十二指腸にできた潰瘍が原因となる場合があり、これらが重症化すると、出血して吐血や下血を来し急激に血圧が下がるなど、命に危険を及ぼすこともあるのです。

さらに、胃や十二指腸に潰瘍ができる原因の中で、ストレスや暴飲暴食の他に最も多いものがピロリ菌感染です。胃潰瘍や十二指腸潰瘍の患者さまの80%がピロリ菌に感染しているという統計もあります。胃カメラでピロリ菌感染が疑われた方は、血液検査や便検査などで簡単に診断することが可能です。ピロリ菌は潰瘍の他にも胃がんなどの原因にもなるため、感染の診断がついた方には除菌療法をお勧めしています。もちろん、胃カメラは食道や胃のがんの早期発見にもつながります。

その他、胸焼けや胃痛は、胆のう結石や膵炎が原因になることもあります。これらは腹部エコー検査やCT検査、血液検査で診断が可能です。

胃痛、胸焼けでお悩みの方、ぜひ一度、消化器内科を受診してみてください。各種検査で皆さまの不安に対応いたします。